

会報

茨城

IBARAKI

82

2025 AUG

The Bulletin of Ibaraki
Association of
Architectural Firms

<https://www.i-jk.org>

第38回

茨城建築文化賞

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会



会報 茨城

題字／大井川 和彦(茨城県知事)
一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
2025年8月 第82号
<https://www.i-jk.org>

82
2025 AUG

01

報告 ● 令和7年度

通常総会開催される

07

報告 ● 第38回

茨城建築文化賞

日立市立中里小中学校
新菱冷熱工業株式会社イノベーションハブ本館
みどりのプール／八郷蒸留所ビジターセンター、ソーセージ・ハム工場
PROJECT「X」／焼杉の家／常陸太田の平屋
つくば国際大学図書館棟／みどりの南小学校児童クラブ
土浦テクノBASE／つくばみらい遠藤レディースクリニック
hutN／ナミツキ大洗の民泊ダイニング

16

報告 ● 第38回 茨城建築文化賞の講評
茨城大学教授 熊澤 貴之 氏

18

報告 ● 令和7年度
賛助会総会・正賛交流会及び建築士会との合同大納涼会

20

報告 ● 第11回
茨城学生建築展が開催されました

23

報告 ● 令和6年度
スキルアップセミナー

24

連載 ● 第1回(計2回)
住宅から他者へ

28

報告 ● 委員会だより

31

報告 ● 会員地域一覧

32

報告 ● 新会員紹介／ 編集後記

表紙の写真

表紙・裏表紙の写真／第38回 茨城建築文化賞
茨城県知事賞〔最優秀賞〕
日立市立中里小中学校
撮影／堀内 広治 氏



報告

通常総会

日時／令和7年5月16日(金)
会場／ホテル テラス・ザ・ガーデン水戸
報告／総務委員会委員長 飯島 洋省

令和7年度 通常総会 開催される



総会では、各種表彰や議案の審議行う

令和7年度通常総会が、去る5月16日(金)、ホテル テラス・ザ・ガーデン水戸に於いて開催されました。

総会に先がけて、昨年度お亡くなりになられた会員の皆様に哀悼の意を表して黙祷が行われ開会となりました。

来賓として、大井川和彦茨城県知事、衆議院議員田所嘉徳氏 秘書中川太一氏、参議院議員加藤明良氏秘書前田拓哉氏、茨城県議会議員(協会顧問)石井邦一氏、他、多くの皆様にご臨席を頂きました。

定刻の午後1時40分に、司会の進行により、正会員415事務所のうち出席74、委任状242、合計316となり、定足数を満たしたため、令和7年度通常総会が有効に成立する旨が告げられ、小室晶副会長の開会の辞により総会が開会されました。

始めに、河野正博会長が主催者を代表して、行政機関や関連諸団体、及び会員各位の日頃からご支援やご協力に対し感謝の意を述べました。

来賓紹介の後、大井川和彦茨城県知事よりご祝辞を頂いた後に表彰式が行われ、その後、永年会員表彰では正会

来賓ご紹介



茨城県知事
大井川 和彦 氏



衆議院議員
田所 嘉徳 氏



参議院議員
上月 良祐 氏



茨城県議会議員
西野 一 氏 (協会顧問)



茨城県議会議員
海野 透 氏 (協会顧問)



茨城県議会議員
石井 邦一 氏 (協会顧問)



茨城県議会議員
木本 信太郎 氏 (協会顧問)



一般社団法人 茨城県建設業協会
石津 健光 氏

出席者ご紹介



会長挨拶／河野会長



開会の言葉／小室副会長



茨城大学教授 熊澤貴之氏
による審査結果と講評



大阪・関西万博の
会場プロデューサー
石川勝先生



開宴の言葉／根本副会長



「茨城県知事賞」三上建築事務所



「茨城県議会議長賞」三菱地所設計



「茨城県土木部長賞」
岡野・増山栄建築設計特定業務共同企業体



「茨城新聞社賞」EOS建築事務所



「茨城県建築士事務所協会賞」テクテクアーキテツラボ



「住宅最優秀賞」宮本建築アトリエ



「入選」増山栄建築設計事務所



「リフォーム賞」G ARCHITECTS STUDIO



永年会員表彰(清水建築事務所)



永年会員表彰(安心確認検査機構)



大阪・関西万博の会場プロデューサー
石川勝先生による記念講演の様子



乾杯の挨拶



懇親会の様子

皆様に改めて感謝の意を表したいと思います。

員5社、賛助会員3社に、河野会長より感謝状と共に記念品が贈呈され、優良鉄筋施工事業者認定書が共栄鉄筋工業株式会社に授与されました。

続いて、「第38回茨城建築文化賞」の表彰式が行われ、最優秀賞である茨城県知事賞に輝いた株式会社三上建築事務所 日立市立中里小中学校をはじめ、県議会議長賞の株式会社三菱地所設計 新菱冷熱工業株式会社イノベーションハブ本館、県土木部長賞の岡野・増山栄建築設計特定業務共同企業体 みどりのプール、茨城新聞社賞の株式会社EOS建築事務所 八郷蒸溜所ビジターセンター、ソーセージ・ハム工房、茨城県建築士事務所協会賞

の株式会社根本建築設計事務所、株式会社テクテクアーキテツラボ PROJECT「X」、そのほか住宅部門最優秀賞1点、優秀賞1点、入賞5点、リフォーム賞1点に対し賞状と記念品が授与され、審査委員長の茨城大学教授 熊澤貴之氏から審査経過と講評が発表されました。

その後、来賓の皆様から御祝辞を頂いた後に議事に入りました。

定款第22条の規定により河野会長が議長となり、第1号議案「令和六年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「令和七年度事業計画並びに収支予算承認の件」が審議の上、原案通り可決されました。その後、根本副

会長の閉会の辞により無事総会が終了しました。

なお通常総会前に、令和七年度茨城県建築士事務所政経研究会通常総会も開催され、無事終了いたしましたことを併せてご報告いたします。

大阪・関西万博実現に向けた貴重な講演

総会の後、2025年大阪・関西万博の会場全体の運営を統括・調整する「会場運営プロデューサー」石川勝先生をお招きし、「大阪・関西万博の挑戦～新たな時代の万博をともにつくろう」と題して、記念講演が行われました。

どのようなコンセプトや目的を持って今回の大阪・関西万

博が実現されたかといった興味深い話を聞くことができました。石川先生にこの場を借りて改めて感謝の意を表したいと思います。

記念講演会後に懇親会で交流深める

記念講演会の後会場を移して、懇親会が開催され、会員相互の親睦を深めることができました。会場となったホテル テラス・ザ・ガーデン水戸の皆様にも改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様のご協力とご支援に感謝を申し上げ、通常総会の報告とさせていただきます。

令和7年度事業計画

本協会設立の趣旨に基づき、建築士事務所の社会的使命と責任を自覚して、1級・2級・木造建築士事務所、また専業・兼業建築士事務所の別なく、広く県内建築士事務所の経営改善と建築技術の向上をはかるとともに、互いに交流を積極的に行い、その団結を深めることにより、本建築設計・工事監理業務の発展に寄与し、ひいては建築文化の向上と地域社会の発展を図るため次のとおり事業を行う。

1. 県民の居住水準の向上と建築関連業界の活性化を図るため、各種事業の情報を提供する。
- (1) 住まいの無料相談会 (各市町村窓口での相談会開催)
- (2) 耐震診断・耐震改修相談窓口 随時
- (3) 既存住宅状況調査に係る相談窓口 随時
2. 行政情報の適正かつ効率的な伝達に寄与するため、各種の情報を提供する。
- (1) 建築行政会議の開催
- (2) 特殊建築物等定期報告の促進指導
- (3) 完了検査の推進
3. 優れた建築物や、まちなみの完成に貢献した建築設計事務所を表彰する。
- 第39回茨城建築文化賞表彰事業
4. 県内の建築系学科を有する学校の生徒が考案した、優れた建築物や都市設計等を表彰する。
- 第12回茨城学生建築展
5. 建築士事務所の業務及び建築技術の進歩向上に資するため、広く県内建築士事務所その他建築関係者を対象に研修会・講習会を開催する。
- (1) 建築士事務所の管理講習会・開設者研修会 2回
- (2) 管理建築士資格講習 1回
- (3) 建築士定期講習 3回
- (4) 明日を創る建築講座 1回
- (5) スキルアップセミナー 1回
- (6) その他 講習会 随時
6. 広く県内建築士事務所の業務改善・向上に資するための事業を推進する。
- (1) 茨城県よりの委託事業
- 令和7年度建築行政指導委託業務
- 設計等の業務に関する報告書の提出及び定期講習受講の案内を、茨城県内の建築士事務所に配布
- 令和7年度住宅耐震・リフォームアドバイザー養成事業業務委託
- 「住宅耐震・リフォームアドバイザー」を養成するための講習会の開催
- 令和7年度設計等の業務に関する報告書受理等業務委託
- 茨城県総合住宅情報提供事業(住宅相談・講習会)
- (2) 国土交通省告示第8号(建築設計・工事監理業務

- 報酬基準)の普及の要望
- (3) 建築設計・工事監理業務報酬基準の調査
- (4) 公共団体からの設計委託業務に関する実態調査等
- (5) 茨城標準単価表の作成
- (6) 建築士事務所登録更新該当者への通知
- (7) 賛助会員との関わりを考える集い実施
- (8) 新規事業開発のための調査研究
- (9) リフォームアドバイザー派遣事業の実施
- (10) 業務書式、図書等の販売

7. 建築士事務所の業務の円滑化及び建築技術の向上に役立つ各種情報や資料を収集し、提供する。
- (1) 業務報酬算定基準の作成・公開
- (2) 改正建築基準法・改正建築物省エネ法の施行に伴う建築士サポートセンター事務局設置
- (3) 東京会の協力事務所マッチングサービス「アーキパートナー」に加入
8. 広く県内に本協会活動をPRするとともに会員相互の情報交換を行う。
- (1) 会報茨城の発刊
- (2) 県民ユーザーへの新聞広報等
- (3) 建築士事務所キャンペーン
- (4) ホームページの作成・更新

9. 会員相互の親睦及び福利厚生のための事業を行う。
- (1) 懇親会の開催
- 賛助会員との懇親会(合同納涼会)
- 年末懇親会
- (2) 親睦ゴルフ大会の開催
- (3) 同好会の支援(ゴルフ)
- (4) 建築視察研修の開催
- (5) 福利厚生事業の普及・促進

10. 会員の増強を図るための運動を行う。
- (1) 青年部会の設置
11. 指定事務所登録機関の業務を行う。
12. その他県内建築士事務所の建築設計・工事監理業務の発展に寄与するための事業を行う。

令和7年度通常総会 永年会員感謝状進呈

【正会員】

(株)吉田工務店
南常建築設計事務所
小薬建設設計事務所
(株)浅川建設一級建築士事務所
清水建築事務所

【賛助会員】

(株)安心確認検査機構
(株)ニシノ清塗工
常陽物産(株)



千波公園(黄門像広場周辺地区)拠点整備事業(鳥瞰イメージ)



(株)横須賀満夫建築設計事務所

事務所 / 茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル 〒310-0021
TEL.029(225)4353 FAX.029(225)1794
東京支店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキキョウ101号室 〒166-0011
TEL・FAX.03(5378)6617
つくば営業所 / つくば市高見原3-1-23 アメニティー高見原202 〒300-1252
TEL.029(896)3978 FAX.029(896)3968
URL http://www.design-yokosuka.co.jp E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp



株式会社 根本建築設計事務所

代表取締役 根本 洋一郎

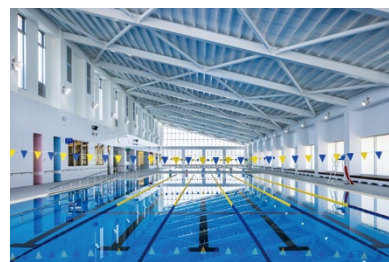
〒311-4141 水戸市赤塚二丁目2005の80 TEL 029-252-6777 FAX 029-252-6684
<http://www.nemotosekkei.com>



みどりのプール



撮影：ワタナベスタジオ 渡辺重任



株式会社
岡野建築設計事務所

〒305-0023 茨城県つくば市上ノ室 2026-1
TEL：029-857-2285 FAX：029-857-4551
<https://www.okano-arc.com/>



株式会社 **増山栄建築設計事務所**
S.MASUYAMA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-12-2-305
TEL：029-869-6123 FAX：029-852-3810
<http://www.masuyama-arc.com/>

三上建築事務所

Kazuhiko Mashiko Architect & MIKAMI Architects

www.mikami.arc.co.jp

[水戸オフィス]	〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-4-36 大町ビル 2 階	TEL.029-224-0606 FAX.029-226-3778
[東京オフィス]	〒110-0015 東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1 ビル 4 階	TEL.03-5817-8184 FAX.03-5817-8194
[九州オフィス]	〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401 号	TEL.0952-37-7630 FAX.050-3730-7134

 **三菱地所設計**
Mitsubishi Jisho Design

代表取締役社長 谷澤 淳一

本店 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2 丁目 5 番 1 号
丸の内二丁目ビル ☎03-3287-5555 (代)

北海道支店 〒060-0807 札幌市北区北七条西四丁目 3 番 1 号
新北海道ビル ☎011-374-6577 (代)

東北支店 〒980-0803 仙台市青葉区国分町三丁目 6 番 1 号
仙台パークビル ☎022-261-1363 (代)

中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 3 番 1 号
名古屋広小路ビル ☎052-231-2300 (代)

関西支店 〒530-6009 大阪市北区天満橋一丁目 8 番 30 号
OAPタワー ☎06-6881-5164 (代)

九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神一丁目 6 番 8 号
天神ツインビル ☎092-731-2277 (代)



茨城県知事賞[最優秀賞] 日立市立中里小中学校
●株式会社 三上建築事務所

第38回
茨城建築文化賞

協賛 / (一財)茨城県建築センター (一社)茨城県建築士会
(一社)茨城県建設業協会 (一社)茨城県設備設計事務所協会
後援 / 茨城県 (株)茨城新聞社 (株)日本工業経済新聞社
(株)日本建設新聞社 (株)建設未来通信社



茨城県議会議長賞[優秀賞] 新菱冷熱工業株式会社イノベーションハブ本館 株式会社 三菱地所設計

●住所／東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内2丁目ビル 電話／080-2382-1512
●協力事務所 施工会社／株式会社 竹中工務店(建築)新菱・城口建設工事共同企業体(空調衛生)大栄電気株式会社(電気)
●建物所在地／茨城県つくば市和台41番地 ●建物用途／研究所
●構造／鉄骨造 ●建築面積／2,391.22㎡ ●延床面積／4,807.83㎡

快適な執務環境の創出をテーマにした研究施設

最新省エネ技術による『ZEB』の実現と、オープンイノベーションを誘発する快適な執務環境の創出をテーマにした研究施設。

敷地がある筑波北部工業団地は、環境景観協定により緑を軸とした景観をつくっている。広い外構と緑に囲まれた豊かな周辺環境を活かして大きな窓やテ

ラスなど外に開いた居場所をつくり、ウェルネスに配慮した施設とした。また大屋根による日射遮蔽など建築計画の工夫と設備技術で、開放的な空間と『ZEB』を両立した。

施設の大きな特徴は、異なる空間×光×温湿度の組合せからなる多様な環境から、自分の好きな執務環境を選ぶこと

ができるワークスタイルの実現である。外構とつながるオープンスクエアや半屋外の吹抜けなど、さわやかな風と光を感じる自然に近い環境から、最新技術で完全に制御された環境までが緩やかにつながった施設の中で、好きな環境に身を置きリラックスして研究を行うことで、より深いひらめきに繋がることを期待する。



茨城県知事賞[最優秀賞] 日立市立中里小中学校

株式会社 三上建築事務所

●住所／水戸市大町3-4-36 大町ビル2階 電話／029-224-0606
●協力事務所 構造／株式会社 坂田涼太郎構造設計事務所 機械／NASファシリティーデザイン室
施工会社／株木建設・多賀土木・茨城日鉦特定建設工事共同企業体
●建物所在地／茨城県日立市東河内町1953-1 ●建物用途／義務教育学校
●構造／木造一部RC+鉄骨造 ●建築面積／2,069.02㎡ ●延床面積／2,839.70㎡

里川沿いに弧を描く

太平洋に面する日立市のなかで、中里地区は山を越えた飛び地のような位置にある。日立鉦山の公害を描いた新田次郎の小説『あるまちの高い煙突』の舞台となった場所である。

この学校は極めて特殊である。現在では別々にある小学校と中学校が一緒に

なる。しかも市内全域から児童生徒を募る可能性もある。それでも人口17万人を超える日立市にありながら、1学年10人程度の小さな学校である。

校舎は敷地の南側に里川に沿って大きな弧を描くように配置した。校舎内から見える円弧外周の景色は場所によって緩やかに異なる。同時に、背後の円弧内側は地域を囲い込みながら、子どもたちを迎え入れる。

中里地区は山々が手の届くほどの距離にあり、間近に清流が流れる。森の木々の彩り、草木のざわめき、川のせせらぎ等々、四季の変化と豊かな自然を感じることができる。それらを校舎内に取り込み、風景と調和するように構造は木造とした。



写真／堀内 広治氏





土木部長賞〔優秀賞〕 みどりのプール

岡野・増山栄建築設計特定業務共同企業体

- 住所／代表構成員（株）岡野建築設計事務所 つくば市上ノ室2026-1 電話／029-857-2285
- 協力事務所 構造／有限会社 けっそく設計 電気／株式会社 池田設備設計事務所 機械／株式会社 池田設備設計事務所 施工会社／谷原・北条特定建設工事共同企業体
- 建物所在地／茨城県つくば市みどりの南14-1 ●建物用途／水泳場(屋内温水プール)
- 構造／鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
- 建築面積／3,717.58㎡(屋内プール施設3,471.42㎡) ●延床面積／3,114.97㎡(屋内プール施設2,953.70㎡)

環境と人に配慮した温水プール施設

本施設は市内の学校プールの老朽化に伴い、近隣の学校が一年を通じて共同利用できる温水プール施設である。学校利用のない時間帯には市民にも開放している。建物はZEB Readyを取得、太陽光発電やコージェネ設備を導入するなど環境対策に配慮した。県産木材や家具端材を活用し、エネルギーの可視化によるLCCの低減も図った。ユニバーサルデザインの観点から、車いす利用者やLGBTQ、子ども連れを想定した

専用の部屋を設けている。トレーニングルームは臨時の更衣室に、会議室は地域に開放し市民の憩いの場として利用できるよう可変性を持たせた。管理棟の全熱交換器の排気は床下ピット空間を通して屋外へ排気させることでピット内の結露および酸欠対策を講じた。屋根を支える鉄骨小梁を斜めに配置、プレース兼用とすることで錆の原因となる部材の使用を極力避けた架構とした。建築意匠はプールの水面とつくば市の象徴



である筑波山をデザインコードとして統一感を持たせた。



〔県建築士事務所協会長賞〕 PROJECT「X」

株式会社 根本建築設計事務所 株式会社 テクテクアーキテクツラボ

- 住所／■株式会社 根本建築設計事務所 水戸市赤塚2丁目2005番地の80 電話／029-252-6777
- 株式会社 テクテクアーキテクツラボ 水戸市千波町1994-25 電話／029-210-1155
- 協力事務所 構造／有限会社 都市環境計画コンサルタント 施工会社／株式会社 大貫工務店
- 建物所在地／茨城県水戸市元山町二丁目5575番、5619番1、5619番4
- 建物用途／事務所 ●構造／鉄骨造一部木造
- 建築面積／252.12㎡ ●延床面積／497.48㎡

階層ごとにデザインコンセプトを決めた居心地の良い空間

長時間を過ごす職場を居心地の良い空間へするために3階建ての階層ごとに役割を決めた 1階をエントランス 2階を打合せ室 3階を事務室として用途を分ける

用途を分けた階層ごとにデザインコンセプトを決めた

1階は税理士事務所であるため堅実なイメージをもてるように窓の少ない信頼感のあるイメージとし 2階は来客をもて

なし正確な仕事をイメージさせるガラス張りのスタイリッシュな空間に 3階は社員のみの空間となるため住宅（街並み）を連想させるような小さなボリュームを複数配置した

計画地は目の前に歴史館（緑の多い施設）があるため歴史館の緑化を建物、敷地に取込む計画とした

歴史館側ガラス張りとし建物内部に緑化を取込み、建物一部を筒状にする



ことで敷地奥へも建物を貫通し緑化を取込める計画とした

3階（歴史館の土地レベル）の街並みをイメージする外部空間へ植物を配置することで前面施設との一体感をだし、街を盛り上げられるような施設とした

茨城新聞社賞〔優秀賞〕

八郷蒸溜所ビジターセンター、ソーセージ・ハム工房

株式会社 EOS建築事務所

- 住所／水戸市備前町6-73 電話／029-231-5755 ●協力事務所 施工会社／株式会社 小葉建設
- 建物所在地／茨城県石岡市須釜字荒田1310-1の一部 ●建物用途／案内所、物品販売店、飲食店、工場（ソーセージ工房）
- 構造／木造 ●建築面積／266.38㎡ ●延床面積／252.30㎡



美しい八郷の景色のひとつになりえることを考慮した施設

当時業者は2020年に八郷蒸溜所を開設し、今回の計画は道路を挟んで別敷地に、ビジターセンター（案内所）と地元の豚（八郷豚）を加工するソーセージ・ハム工房を併設する施設です。

設計のテーマを「筑波山の麓・美しい八郷の景色のひとつになりえること」とし次の3点を考慮し設計を進めます。

- ・敷地の特性を生かす
- ・建物と八郷の自然をつなげる
- ・訪れる方々を暖かく迎え入れる空間をつくること

その具体案は美しい筑波山を望めら

れるよう、開口部を全面に設け、外部には広々とした八郷テラス（木製デッキ）を設置します。

ビジターセンター屋根の勾配は筑波山の斜面傾斜角の一部を用い、外壁は自然の素材（石、木材等）を使い、周辺環境に調和させます。

内部エントランスホールは、ミニチュアのポットスチル（蒸溜器）を設置（実際に蒸溜できる）、カウンターやテーブルの天板には使用済みの樽材（オーク材）を採用。

蒸溜所の存在をアピール、暖かい空間とします。



〔住宅部門最優秀賞〕

焼杉の家

有限会社 宮本建築アトリエ

- 電話／029-244-7711 ●協力事務所 施工会社／株式会社 坂場工務店
- 建物所在地／茨城県東茨城郡茨城町 ●建物用途／一戸建ての住宅
- 構造／木造 ●建築面積／198.99㎡ ●延床面積／170.17㎡



敷地は県央地域で良く見られるサツマイモ畑・栗畑・雑木林に囲まれた斜面である。

元々は、施主の祖父母が畑として耕作していた土地である。施主にとっては、長年慣れ親しんだ土地であるため、斜面だからといって大規模な造成工事は避けたかった。そこで、メインのフロアラインを斜面の高い位置に設定し土の掘削量を減らす工夫をした。また、道路に近い部分に第二のフロアラインを設定することで、回廊や農作物

置き場といったセミパブリックスペースと家族のプライベート空間を（階段を使って）シームレスに移ろうような計画とした。また、経年による変化をポジティブに捉える素材（焼杉、無塗装の木材、無

風土・人を受け入れ 経年深化していく住宅の在り方を目指した住宅

垢材を使ったフローリングなど）を使用することで、土地の気候風土を受け入れ、変化し、許容する器の大きな建築となることを目指した。





【住宅部門優秀賞】 常陸太田の平屋

株式会社 サンハウス

- 住所／水戸市見和2-547-3 電話／029-257-6566
- 協力事務所 構造／BX TOSHO株式会社 一級建築士事務所
- 建物所在地／茨城県常陸太田市 ●建物用途／一戸建ての住宅
- 構造／木造 ●建築面積／130.83㎡ ●延床面積／94.40㎡

コンパクトな平面計画で原風景となりうる住まい

夫婦と子供2人の住まい。敷地は阿武隈山系の裾野を望む里山。

隣接する蕎麦畑や山並みに開いたプラン。この土地で生まれたご夫婦や、この土地で育まれる幼い子供たちのために、原風景となりうる住まいを目指して設計した。

大きな屋根は、望める山並みの稜線をイメージし、屋根勾配は古くから建つ近所の住い達に倣い、軒先やデッキの水平ラインは、伸びやかな土地の地平に倣った。

コンパクトな平面計画だが、風景と暮らしが呼応するプランとし、ダイニングは勾配天井、リビングはダウンフロアとすることで、空間が単調にならないように断面計画を配慮した。

山側の循環を意識し、外壁に国産材の焼杉、内装にも県産の杉を多用した。

住まいの長寿命化のためには、性能値を示す公的な評価が大切と考え、長期優良住宅の認定を受け、U・A値は0.23、耐震等級3を確保。

2050年カーボンニュートラルに向け付



加断熱を施し、1台の壁掛けエアコンで暮らせる高断熱住宅としている。



【入選】 みどりの南小学校児童クラブ

時空遊園 一級建築士事務所

- 住所／つくば市柴崎999-7 電話／029-850-6710
- 協力事務所 構造／小林構造設計室 電気／株式会社 テックレボ 機械／株式会社 テックレボ 施工会社／飯岡建設株式会社
- 建物所在地／茨城県つくば市みどりの南107番地2の一部 ●建物用途／児童福祉施設等(児童クラブ)
- 構造／木造 ●建築面積／720.73㎡ ●延床面積／1,148.15㎡

子供たちがリラックスできる温かみのある空間

子供たちが放課後に過ごす空間としてリラックスできるよう、温かみのある素材と楽しい色合いをちりばめました。カラーパレットのような外観と内観は子供たちに創造力を育てて欲しいという願いを込めたものです。色のトーンを抑えて景観条例にも適合した落ち着いた色合いにしました。子供たちは階段で遊ぶのが好きなため、危険を避けるように手すりにより登れない形状にしながらも、上下に伸びる空間を楽しく演出しました。階段で留

まらないよう、代わりに図書コーナーに階段状の本棚を作り、座ったり寝転びながらくつろげる空間を作りました。壁の一部は絵を書いたり磁石を貼ることができる仕掛けにする他、鴨居を2段にして釘等が打ちやすいようにしています。構造はRC造の予定でしたが、建物で自然教育が可能となることや自然環境、地元林業等を考慮し、準耐火木造建築としました。地元の大工によるメンテナンスを可能にするため在来工法としました。



大学図書館の移転計画です。敷地は現況の大学キャンパスに隣接しているものの、5m程低くっており、駐車場として利用されていました。学生は徒歩・自転車・自動車と、様々な交通手段と方角から通学します。駐車場を利用しない学生にとっては距離があり、利用率が低下してしまうことが懸念されました。そこで、駐車場レベルとキャンパスレ

ベルの両方からアクセスできる計画としています。閉架書庫や開架書庫を、建物北側斜面に埋め込み、外気の影響を受けにくくしています。反対に採光が得られる南側に閲覧スペースを配置しました。直射光に対しては、ブラインドで調整を行います。通常は外部ルーバーによって光を拡散しています。また、この大学図書館の特徴として、キャ

美術品展示室と収蔵庫を備え 日常的に美術品に触れられる環境

ンパスレベルとなる2階に、美術品展示室と収蔵庫を備えています。廊下やホールといった図書館への道中にも展示ができる設えとして、日常的に美術品に触れられる環境としています。



【入選】 つくば国際大学図書館棟

株式会社 増山栄建築設計事務所

- 住所／茨城県つくば市千現1-12-2ヴィラージュ千現305号室 電話／029-869-6123
- 協力事務所 構造／有限会社 けっぞく設計 電気／株式会社 北嶋 機械／三建設備工業株式会社 茨城営業所 施工会社／坪井工業株式会社 茨城支店
- 建物所在地／茨城県土浦市真鍋6丁目3958-1他
- 建物用途／大学(図書館) ●構造／RC造
- 建築面積／954.00㎡ ●延床面積／1,825.77㎡

道路舗装業界を代表する日本道路の創立100周年事業として計画された複合施設



霞ヶ浦や筑波山に囲まれた緑豊かな土浦の風景との調和を目指した。建物は前面道路から15mほどセットバックさせ、遊歩道と開放的で広々とした芝生の広場を設けた。ランドスケープは土浦の風景である「霞ヶ浦の帆曳舟」や「水辺の草地」をモチーフにおおらかな曲線



を用いた。緑豊かな広場は憩いの場になるとともに、日本道路が開発した舗装材の発信の場とした。

建物の中央には上部から自然光が降り注ぐ吹抜をつなぐ大階段を設けた。オープンな空間が広がり、人の活力が感じられる空間とし、自然なコミュニケーションが生まれるワークプレイスを実現した。内装を暖色系の柔らかいトーンで包み込み、木のフローリングやカウンター、植栽、開口部からの光により、公園のような居心地の良さを感じられる設えとした。

カーボンニュートラルの実現に向けた積極的な取り組みにより、ZEBを取得。



【入選】 土浦テクノBASE

清水建設 一級建築士事務所

- 住所／東京都中央区京橋2丁目16-1 ●協力事務所 施工会社／清水建設株式会社東京支店茨城営業所
- 建物所在地／茨城県土浦市おおつ野一丁目4番 ●建物用途／事務所 ●構造／S造 ●建築面積／1,366.52㎡ ●延床面積／3,777.47㎡



[入選]

つくばみらい遠藤レディースクリニック

竹中工務店東京 一級建築士事務所

●住所／東京都江東区新砂1-1-1 電話／03-6810-5000
●建物所在地／茨城県つくばみらい市富士見ヶ丘1丁目28番3 ●建物用途／産婦人科診療所 ●構造／RC造
●建築面積／1,044.80㎡ ●延床面積／1,674.52㎡

機能合理性の中に地域・自然との融合、象徴性、環境性を備えた医療設備

本院のある茨城県筑西市は人口減少により産科需要も減少しているが、つくばエクスプレス沿線は新しいまちづくりにより、首都圏の中でも若いファミリー層が集まっている。そのような地域状況にあって市からの要請もあり、分院としての産科婦人科を開設することとなった。周辺地域は丘や広大な田畑が宅地開発されている。敷地は駐車場と建物以外を緑化し、苗木を植え、将来は緑に囲まれた自然豊かなクリニックとなるよう設えた。安心安全の24時間稼働医療施設は短い動線と合理化の徹底が図られ、

ゆとり空間は不要とされたが、一番大切な新生児室には光を取り入れ建物の真中に配置して産科の象徴性を表現した。省エネは勿論、パッシブ環境デザインとして南側には庇を設けて日射を制御



すると同時に床暖を敷設し温熱環境にも配慮した。中庭に見立てた階段室からの自然光の導入など、機能合理性の中に地域・自然との融合、象徴性、環境性を備えた医療設備が実現した。



[入選]

hutN

合同会社 スナバ+tombow architects

●住所／神奈川県川崎市多摩区東三田2-14-23-501 ●協力事務所 構造／oha 施工会社／株式会社 渡辺建工
●建物所在地／茨城県つくば市 ●建物用途／一戸建ての住宅 ●構造／木造 ●建築面積／86.52㎡ ●延床面積／111.29㎡

地域全体の家に対す見方を変える存在

近年開発の進む駅前から少し離れた古い住宅群が数多く残っている地域に建つ住宅である。

敷地は東西方向に細長く隣家が迫っていたため、日照をいかに確保するかが課題となった。

そこで、敷地形状に添わせるように上下階でボリュームをずらし南面でのセットバックをつくることで、ハイサイドライトを持った大きな吹き抜け空間を設けた。ボリュームのずれは同時に豊かな軒下空

間も生んでいる。

更地の時点では陰湿な空気を感じる土地であったが、周辺からの見えとしても明るい場所へと転換させている。

また郊外でありながら建て詰まっている状況において、異物を持ち込むことに違和感を感じた。周囲の屋根・外壁の形状を抽出し、前面道路側に開口がない切妻のボリュームが浮いているような建ち方とした。

変わりゆく風景の中で、周囲の要素を抽出しながらも比較すると違和感を感じるような建ち方は、地域全体の家に対す見方を変える存在となることを期待している。



[リフォーム賞]

ナミトツキ大洗の民泊ダイニング

株式会社 G ARCHITECTS STUDIO

Japan asset management 株式会社

●住所／東京都渋谷区鶯谷町10-18-201 電話／03-6875-1456
●協力事務所 施工会社／ZOSUN 阿部田 英樹
●建物所在地／茨城県東茨城郡大洗町磯浜町938-2
●建物用途／店舗併用住宅 ●構造／木造
●建築面積／115.93㎡ ●延床面積／212.18㎡

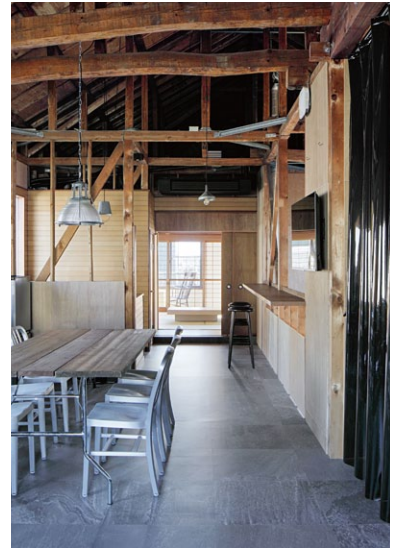
海街に馴染み自然に人が集まる建物

茨城県大洗町に建つ木造二階建ての元酒屋のリノベーション。施設は倉敷を本拠地とするディベロッパーの茨城県における事業展開の拠点となる。ワーケーションでの利用など社員の福利厚生としての側面と、会社が重点エリアとしているこのエリアに根ざすために飲食店も運営する事になった。

今回の事業は施主にとっても初めての試みである為テストケースとして中古物件を取得しリノベーションし、極力イニ

シャルを抑える事、大洗の街に馴染み街の人・街を訪れる人に受け入れられることが求められた。

我々は港町のトタン造りの周辺建物にならない、痛みの酷い既存サイディングの上よりトタン板を貼り二次止水面を形成。鉄粉を塗り付けて外壁表面に「もらい錆」の状態をつくり経年変化をまとうた外観とし、この海街に自然に佇み人が集まる建物を考えた。



撮影：ワタナベスタジオ 渡辺重任



株式会社 増山栄建築設計事務所
S.MASUYAMA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

代表取締役 増山 栄

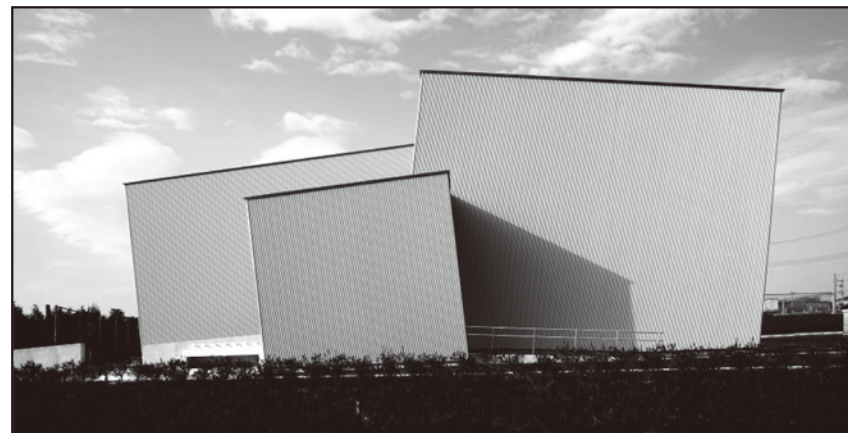
〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-12-2-305
TEL : 029-869-6123 FAX : 029-852-3810
<http://www.masuyama-arc.com/>

(学) 霞ヶ浦学園
つくば国際大学 図書館棟

時 空 遊 園

JIKOYOOEN ARCHITECTS

[www. jikooyooen. com](http://www.jikooyooen.com)



審査委員 ※敬称略・順不同・役職は令和7年3月現在
熊澤貴之氏(国立大学法人茨城大学工学部都市システム工学科教授)
加藤研氏(国立大学法人筑波大学芸術系助教)／梅本舞子氏(国立大学法人筑波技術大学産業技術学部産業情報学科准教授)
山田陽一氏(茨城県土木部都市局建築指導課長)／小沼紀男氏((一財)茨城県建築センター理事長)
柴和伸氏((一社)茨城県建築士会会長)

茨城建築文化賞の講評

茨城大学 教授 熊澤 貴之

【第一次審査の経緯】

令和6年度の第38回茨城建築文化賞の第一次審査は、2025年3月26日に審査委員6名が出席のもと実施された。今年度の応募作品数は36点(大規模建築:12点、小規模建築:6点、住宅:14点、リフォーム:4点)であり、小規模から大規模まで多岐にわたる分野からの応募があった。全体として応募数は昨年度を上回り、質の高い作品が多数集まったことで、審査会では活発かつ多角的な議論が展開された。

審査は、会場に展示された全作品を審査員が閲覧した後、種別を問わずに一人10票を投じる第一回投票を行った。その結果、4票以上を獲得した7作品が選出されたため、続いて一人5票を投じる第二回投票を実施した。両投票の合算により、7票以上を得た5作品を第二次審査(現地審査)の対象とした。また、3票以上を獲得した5作品は「入選」として選出された。

住宅部門では、最多得票を獲得した1作品を「最優秀賞」、次点の1作品を「優秀賞」とした。リフォーム部門においては、最高得票作品1点を「リフォーム賞」に選定した。

【第二次審査の経緯】

第二次審査は4月19日に実施され、審査委員5名が5作品を現地訪問のうえ審査を行い、その後、会場に戻って最終的な評価を行った。審査では、周辺環境との調和、現代的課題への応答、地域社会への貢献、構造や機能性の工夫、建築文化の継承と発信、美的完成度などを主要な評価軸とし、各審査員が講評を述べた後、各賞に対し一人1票で投票を実施した。

その結果、以下の通り各賞が決定された:

- 知事賞:「日立市立中里小中学校」
- 議会議長賞:「新菱冷熱工業(株)イノベーションハブ本館」
- 土木部長賞:「みどりのプール」
- 茨城新聞社賞:
「八郷蒸留所ビジターセンター、ソーセージ・ハム工房」
- 茨城県建築士事務所協会長賞:「PROJECT「X」」

【現地審査に基づく講評】

■〈知事賞〉日立市立中里小中学校(株三上建築事務所)

山々に囲まれた敷地において、新校舎と既設体育館が校庭を中心に円を描くように配置され、建築と自然が一体となった美しい風景を創出している。登下校時に生徒たちはこの風景を日常的に目にし、自然との共生を実感できる学びの場が提供されている。教室は少人数教育に対応した小規模な単位で構成され、引き戸によって空間の自由な可変が可能となっている。木造架構による開放的な教室は通風・見通しに優れ、教育環境として非常に質が高い。特に真っ直ぐな製材を接続して形成された

美しい円弧は、高度な施工技術の証しであり、総合的に本賞に最もふさわしい作品として審査員全員の一致した評価を得た。

■〈議会議長賞〉新菱冷熱工業(株)イノベーションハブ本館(株三菱地所設計)

日射を遮蔽する大屋根の下に半屋外の吹き抜けエントランスが配され、その空間を挟むようにワークプレイスとラボエリアが展開されている。ワーカーは自然に近い環境から最新のセンサー技術による高度に制御された空間までを自在に選択できるなど、アクティビティ・ベースド・ワーキング(ABW:Activity Based Working)を考慮した快適な労働環境が提供されている。設備技術と建築が融合した、人間中心の持続可能なワークプレイスとして高く評価された。

■〈土木部長賞〉みどりのプール(岡野・増山栄建築設計特定業務共同企業体)

ダイナミックな鉄骨梁が大屋根を支える室内プールは、構造美と開放感が両立した魅力的な内部空間を実現している。外観は地域の象徴として親しまれるランドマークの存在であり、引き戸による可変性を備えた諸室は、多目的利用に対応する優れた設計といえる。地域コミュニティに開かれた多機能空間として高い完成度を有している。

■〈茨城新聞社賞〉八郷蒸留所ビジターセンター・ソーセージ・ハム工房(株EOS建築事務所)

筑波山の麓、雑木林に囲まれた傾斜地に建つ本施設は、建物内部やテラスからの眺望が美しく、訪れる者を魅了する。駐車場からテラスまでの動線は多様な素材を用いて丁寧に設計され、周辺環境との調和を生み出している。ランドスケープと建築が一体化した設計が高く評価された。

■〈茨城県建築士事務所協会長賞〉PROJECT「X」(株根本建築設計事務所・(株)テクテクアーキテツラボ)

茨城県立歴史館の通りに面したガラスの外観は、階層ごとに表情を変える多様なファサードを構成し、現代的なオフィス空間の新たな風景を創出している。内部では、利用者の多様なニーズに応える空間構成が展開され、建築の内外にわたる革新性が高く評価された。

本年度の受賞作品はいずれも、意匠・構造・設備が一体となり、現代の建築的課題に対して創造的に応答する意欲的な提案を示している。それぞれが個性を持ちながらも高い技術的完成度を備え、「一つの建築として完成度の高い作品」として、本賞の理念にふさわしい成果を示している。

来年度以降も、社会や地域の課題に応える挑戦的な建築作品の応募を期待したい。

ニチハ

屋根・外壁下地

センチュリー耐火野地板が

茨城県リサイクル

建設資材評価認定制度

に登録されました!

※1

※2

リサイクル

いばらき

※1

茨城県リサイクル建設資材評価認定制度は、循環型社会の構築を目指し、茨城県の公共工事でリサイクル建設資材を積極的に活用するため、リサイクル建設資材の評価・認定を行う制度です。

※2

センチュリー耐火野地板は、Bグループ(試験的な利用も含めて積極的な利用を図る資材)に設定されました。

無塗装品・H12 建設省告示1401 号準不燃材料適合品

屋根の『30分耐火認定』のみでなく、外壁の『1時間耐火認定』等の下地材としても使用可能!

屋根・外壁下地

センチュリー耐火野地板

無塗装品(硬質木片セメント板)

品名

耐火野地板(硬質木片セメント板)

品番

CPN1800

CPA2500

寸法

18×910×1820mm

25×910×1820mm

標準価格(税抜)

4,600円/枚(2,777円/㎡)

6,200円/枚(3,744円/㎡)

重量

約39kg/枚

約54kg/枚

梱包

50枚/パレット積み

36枚/パレット積み

お問い合わせ先

素晴らしい人間環境づくり

NICHIHA

ニチハ株式会社 水戸営業所

〒310-0805 水戸市中央二丁目6番29号(AIG水戸ビル)

TEL: (029) 231-3145 FAX: (029) 231-0180

16 [IBARAKI August 2025]

[IBARAKI August 2025] 17

令和7年度賛助会総会・正賛交流会及び建築士会との合同大納涼会報告



衆議院議員
田所 嘉徳 氏(士会顧問)



水戸市長
高橋 靖 氏(士会顧問)



茨城県議会議員
西野 一 氏(協会顧問)



茨城県議会議員
海野 透 氏(協会顧問)



茨城県議会議員
石井 邦一 氏(協会顧問)



茨城県議会議員
木本 信太郎 氏(協会顧問)



令和7年7月11日(金)、ホテルテラスザガーデン水戸にて「令和7年度賛助会総会」が開催されました。

総会は、河野会長のご挨拶に続き、賛助会代表幹事・植田佳男氏によるご挨拶のもと開会され、引き続き議事審議へと進行了しました。議長には、植田代表幹事が選任され、令和6年度事業報告並びに令和7年度事業計画について審議が行われ、すべての議案が承認・可決されました。また、新入会員の紹介もあわせて行われ、滞りなく総会は終了いたしました。

総会終了後には、今年度より新たな試みとして「正賛交流会」が開催されました。正会員と賛助会員が一堂に会し、立場や所属の垣根を越えて活発な意見交換が行われました。

本交流会では、日頃の活動や現場での課題、業界の動向などについて率直な意見が交わされ、単なる名刺交換や情報共有にとどまらない、実務に即した有意義な対話の場となりました。

今後もこうした交流の機会を継続していくことで、協会活動のさらなる活性化と会員相互の連携強化につながる事が期

待されます。

その後、会場を移して「建築士会との合同大納涼会」が開催され、来賓の皆様からのご祝辞を賜ったのち、盛大な乾杯により開宴しました。当日は、事務所協会・建築士会より合計191名(内協会会員158名)が参加し、各所で賑やかな交流が繰り広げられる中、懇親と親睦が深められ、非常に有意義な会となりました。



茨城県建築士事務所協会
河野 正博 会長



茨城県建築士事務所協会
賛助会 植田 佳男 代表幹事



伊沢総合建築研究所
伊沢 勝義 氏
令和7年 春の叙勲旭日双光章
受章



(株)三上建築事務所
益子 一彦 氏
国土交通大臣表彰受賞
(建設事業関係功労)



第11回 茨城学生建築展 表彰作品

第11回茨城学生建築展が2月20日(木)に審査会が開催され、各賞は以下のとおり決定いたしました。
なお、今回の参加全作品は事務所協会ホームページ上で公開しています。



受賞者の皆様おめでとうございます。

第11回目となる茨城学生建築展は、5年ぶりに【笠間の家】での開催となりました。大学3校、専門学校3校、高等学校2校から計34点の作品の応募があり、2月20日(木)に笠間の家に於いて審査会が開催されました。

審査は、笠間市建設部建築課 田中課長、建築士事務所協会 河野会長、建築士会 柴会長、JIA茨城地域会 本澤会長、日本建築学会関東支部茨城支所 長塚所長、建築センター小沼センター長の計6名の審査委員により行われました。

笠間市長賞は茨城大学工学部一戸奈津さんが受賞、その他建築士事務所協会賞、茨城新聞社賞など各賞が選

出されました。各賞の表彰式は2月23日(土)に地域交流センターいわま(通称あたご)の多目的ホールにて開催されました。出席者は山口笠間市長はじめ審査委員の方々並びに各賞の受賞者、学校関係者、報道関係者が参加されました。受賞式では各賞受賞者の作品発表と続いて、各審査員より講評を頂きました。

尚、参加者の作品は当建築士事務所協会HP内で公開されています。

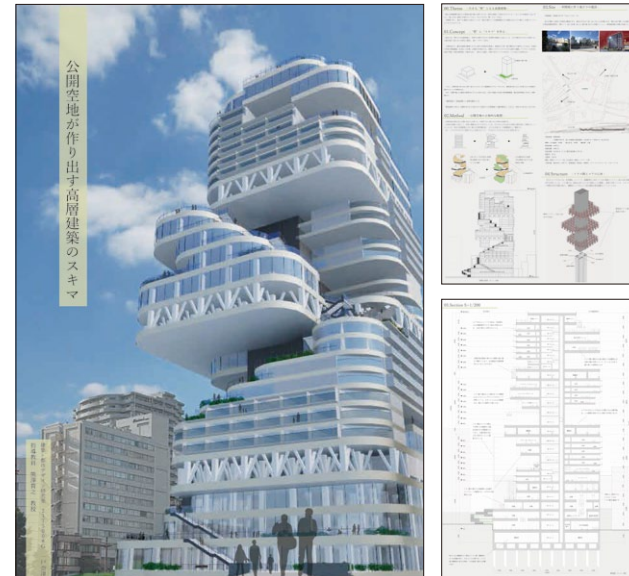
次回の第12回茨城学生建築展も【笠間の家】での開催予定で準備を進めています。



笠間市長賞

公開空地が作り出す高層建築のスキマ

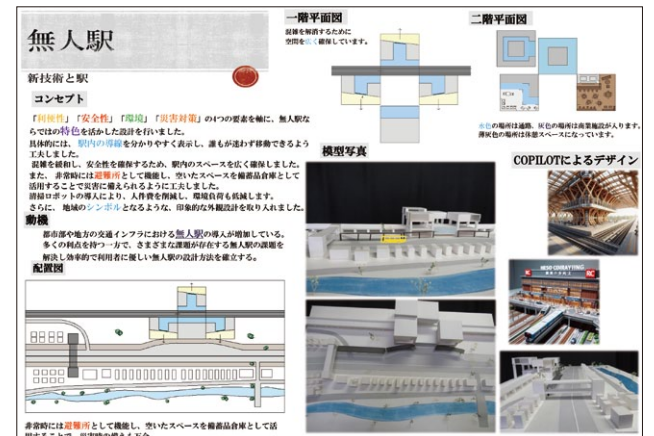
茨城大学 一戸 奈津さん



茨城県建築士会賞

近代的な無人駅

水戸工業高等学校 岡田 奈南さん



茨城県建築士事務所協会賞

学校めぐり、めぐりあい

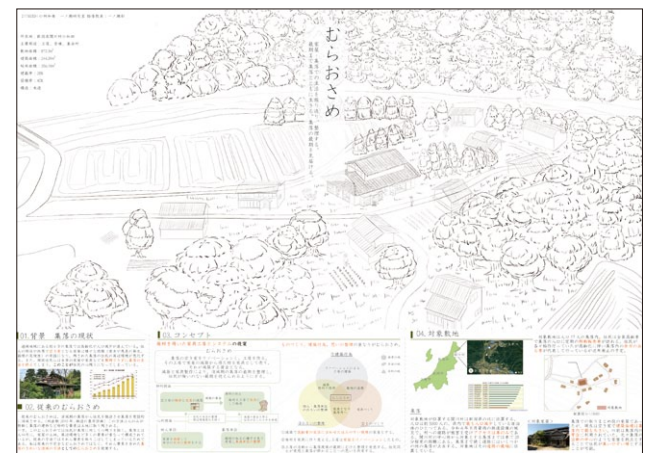
筑波大学 田中 弥呼さん



JIA茨城賞

むらおさめ

茨城大学 小林 和奏さん



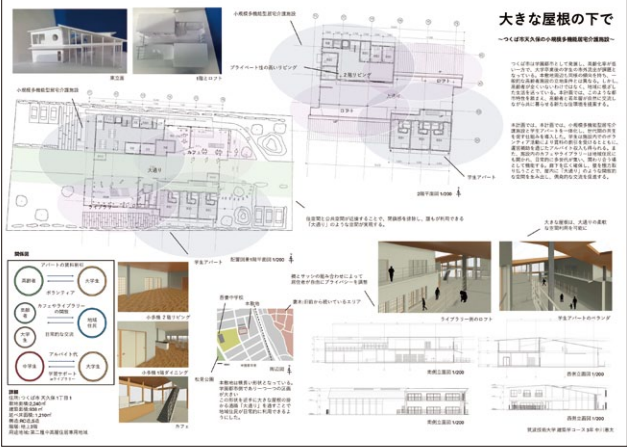
建築学会茨城賞

許容が生み出す居場所
つくば工科高等学校 田崎 修也さん



茨城県建築センター賞

大きな屋根の下で
筑波技術大学 中川 恵太さん



協賛／(一財)茨城県建築センター (一社)茨城県建築士会 (公社)日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会 日本建築学会関東支部茨城支所
後援／笠間市 (株)茨城新聞社

協賛企業／(株)建築資料研究社/日建学院 総合資格学院水戸校 植田防水工業(株) ミナト防災通信工業(株) 第一熱学建設(株) (株)新日東 アイジー工業(株) アオキ(株) 暁飯島工業(株) 阿部興業(株) (株)アルク (株)安心確認検査機構 (株)EMI確認検査機構 (株)梅山工業所 岡田電気産業(株) (株)岡村地質 (株)角藤 元旦ビューティ工業(株) 北恵(株) 草薙木工(株) 三見金属工業(株) 三和シャッター工業(株) (株)ジャパンエコーサービス センター電機(株) (株)染野製作所 (株)大成設備工業 (株)但野商店 秩父ケミカル(株) (株)千代田興業 TOTO(株) (株)奈良屋 ニチハ(株) 根本電興(株) 能美防災(株) 常陸大理石(株) (株)日立ビルシステム (株)フジクリーン茨城 (株)フジコー 文化シャッター(株) 北海道パーケット工業(株) 前田製管(株) (株)山忠 (株)LIXIL YKKAP(株)

茨城新聞社賞

沐香造 MOKUKOUZOU
文化デザイナー学院 松永 健太さん



奨励賞〔日建学院〕
つなが
文化デザイナー学院 石原 怜奈さん

奨励賞〔総合資格学院〕
開心 ～忘れていた感覚～
水戸日建工科専門学校
大川原 凜さん、木村 萌々花さん、自見 香心さん

奨励賞〔第一熱学建設(株)〕
未来の芽 ～現代保育の新たな提案～
水戸日建工科専門学校 常 希心さん、小宅 晴哉さん

奨励賞〔(株)新日東〕
Floating Architecture ～親水空間の拡張と音楽～
筑波研究学園専門学校
木村 祐輔さん、勢司 幸樹さん、宗田 勇志さん

申込数:34点、大学3校、専門学校3校、高等学校2校

報告
令和6年度 スキルアップセミナー
日時／令和7年2月8日(土)
会場／水戸市民会館
報告／研修委員会 市毛 あすか

うねもり ひろゆき
畝森 泰行氏
『他者と身体、そのスケール』参加報告

今年度は次世代ホープと期待されています、若手建築家『畝森泰行氏』に講師をお願いしました。



スキルアップセミナーの様子

去る2月8日(土)、研修委員会主催のスキルアップセミナーが水戸市民会館の大会議室にて開催されました。

今年度は次世代ホープと期待されています、若手建築家『畝森泰行氏』に講師をお願いしました。狭小住宅から公共建築物まで手掛けられており、建築雑誌でも目にする機会も多く、今回はぜひお願いしたいと思い連絡させて頂きました。お打合せの段階からテンポのよいお返事、畝森先生のお人柄にも惹かれました。

テーマが『他者と身体、そのスケール』。どのような切り口でお話しされるのか興味を惹かれるタイトルでした。

講演会当日、畝森先生の生い立ちからお話が始めました。出身地の岡山の田園風景の写真から、大工のお父様のお話し、木こりのご祖父のお話…不思議な感じがしながらも、話に引き込まれていきました。

作品の写真や説明を聞き進めていくうちに、納得させられました。畝森さんの作品の根底には田舎の田園風景が色濃く残っており、お父様とご祖父への尊敬が表れている作品も多くみられました。



講師の畝森泰行氏



自然や人間、地域、いろいろな概念が含まれた『他者』と『身体』、それらとの絶妙な距離感、考えつくされた『間(スケール)』。『他者』を認めて受け入れる。それが形として現わされており、なんとも気持ちの良い作品が多いのだと感じ、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

今回は学生さんも多数参加して頂けました。きっとこれからの建築に関わる人生で、何か大切なものを持ち帰れたのではないのでしょうか。

第1回 住宅から他者へ

建築家
畝森泰行建築設計事務所 代表
畝森 泰行



計2回(82号と83号)に渡ってここに文章を書かせてもらうことになった。あらかじめ2回と分かっている所以对照的なテーマが良いと思い、今回を「住宅から他者へ」、次回を「公共から個人へ」にひとまず決めた(もしかすると2回目は変わるかもしれない)。これまで私は複数の住宅と公共建築を設計する機会を得られた。住宅と公共建築では当然条件が異なり、建主や規模、予算や進め方などその違いは様々だが、一方でどこか通じるところもあるように思う。あるいはその共通性を探しながら設計しているのかもしれない。今回、異なるところから書き始めることで、そこにある何かを言葉にしたいと思った。

他者との間

これまで私は7つの住宅をつくり、今も3つの住宅を設計している。住宅の設計で最初に考えるのは建ち方である。建物全体のヴォリュームや配置、それによってできる外部空間をいつも気にしている。内部のプランや広さ以上に、その建ち方によってどのような外部空間をつくれるか。特に私はこれまで設計した住宅のほとんどが都市住宅だった。そのため敷地が小さく、隣家が接近して建つため、自ずとヴォリュームのスタディも厳密になっていく。しかしそれらの限られたスタディによって、より周囲との関係に意識が向き、むしろその差異が私の基準の



Small House, 2010 (photo by Ken Sasajima)

ひとつになっていったように思う。たとえば最初に設計した「Small House(2010)」は、30m程の敷地に対してさらに小さな平面(4m×4m=16m²)とした。周囲から距離を取り、それによって生まれるわずかな空地を通して室内に光と風を取り入れる。隣家や周辺との調整代にもなり、そういう外部のつくり方によって環境自体から変えようとしたのである。

日本の街は、基本的に敷地境界によって分けられている。それぞれが所有する土地の上に個別に住宅を建て、それらが集まってできた都市の風景は、個人的な自由さを獲得する一方で、どこか他者への関心を失い、孤立する暮らしもつくり出した。制度的あるいは空間的分断が閉鎖的な建物に繋がり、その結果異なるものが出会う機会を奪ってきたとも言える。確かに私たちは分かれざるを得ない。けれどそういう既成の制度や境界を超えて、周囲や自然環境も含めて共有できるような、そういう他者との「間」をいかにつくれるかが重要に思う。

自然の違い

「Small House」が竣工して数年経った冬の頃に訪れたことがある。そこでは計画していた半地下の寝室ではなく、3階の予備室に家族全員の布団が敷かれていて、聞くと冬の時期は暖かい上階で寝て、夏は涼しい半地下に移動するという。季節や気温の変化に合わせて動物のように動きながら生活する様子に私は大変驚いた。自然環境の違いと人間の身体とが、建築空間を介して応答しているように思えたのである。

私は大学時代に熱気球サークルに入っていた。熱気球にはハンドルのようなものは無く、バーナーを焚いて気球内部の空気を暖めて上昇するか、リップラインという紐を引き、調整弁を開けて空気を排出して降下するかの二通りの操作しかない。空は高さによって風の向きが異なる。その風の違いを事前に察知し、目的の高さ(風の向き)に合わせるように気球を上下させ、風に任せて飛ぶのが熱気球の仕組みである。一様に見える空も、実は上空では様々な風が吹いていて、そういう空の違いと熱気球との関係は、「Small House」で季節や気候に合わせて上下する建主の生活と通じるように思えた。私たちを取り巻く自然環境は少しずつ変化している。そのわずかな違いに反応でき、その時々で自分の場所を選べるような、そういう自然に沿うことで得られる豊かさをつくれなだろうか。「Small House」や熱気球の経験を通じてそのことを私は意識するようになった。



photo by Hiroyuki Unemori

多自然の建築

2022年にできた私の自邸「Houses」は、私の家族だけではなく、隣の義妹家族と一緒につくった住宅である。どちらも細長い平面(長さ16m×幅3.6mと長さ16m×幅4m)を持ち、間につくった路地を挟むようにして建っている。それぞれの床や屋根の高さを細かく上下させ、異なる場所がありつつそれらが連なるような住宅をつくった。そこでは、どこにいても路地の緑や空の様子が分かり、隣の気配と街の断片を微かに感じる。私たち家族も様々に行き来しながら暮らしていて、その意味で自邸やふたつの家というより個別の場所が集まる小さな集落と呼ぶ方が近いのかもしれない。

文化人類学に「多自然主義」という考えがある。多様な文化集団や異なる民族が共存することを意味する「多文化主義」と異なり、「多自然主義」は動物や昆虫、植物など人間以外の存在とひとつの世界をつくることを言う。自然を外部化した人間中心的な考えではなく、様々な自然が連鎖する「多自然主義」は、東洋的あるいは仏教的な世界観とも通じるだろう。今私たちは、自然と共にいることを改めて認識し、そのことを通じて都市と建築について考える必要があるのではないだろうか。今も刻々と自然は移り変わっていて、その変化を感じられる「間」が私たちの周りには必要であり、それゆえに建築自体も変わらなければならない。その建築は変化に富んでいて、たとえば大小のスケールがあり、明暗をもちつつ静かで開放的な、そう言葉にするとまるで矛盾しているような空間である。あるいは言語的というより身体的で、人間と自然との間で伸び縮みする柔らかな輪郭を私はイメージする。私の自邸で時折見る自然の機微は、



Houses, 2022 (photo by Kai Nakamura)



Houses, 2022 (photo by Kai Nakamura)

自分は決してひとりではなく何かと共に生きていると感じられる瞬間であり、そういう他者への想像を通じた自己の認識は、この孤立しがちな社会のなかで私たち建築家がつくり得る実空間の可能性ではないだろうか。住宅は個人のものである。けれどそのこと以上に、広く自然も含めた他者性の獲得によって、独立した個人を超えた多自然の豊かさに繋がるのであり、またそれはたとえ公共建築の場合であっても同じに思う。その共通性を次回は公共の側から考えてみたい。

安全、安心、快適な暮らしを
お届けします。



三和シャッター工業株式会社

水戸統括営業所 TEL.029-225-1651 FAX.029-227-2513
 茨城市場開発課 TEL.029-225-3687 FAX.029-227-2513 茨城営業課 TEL.029-228-4121 FAX.029-227-2158
 水戸メンテサービスセンター TEL.029-225-1625 FAX.029-227-5187 日立営業所 TEL.0294-24-2551 FAX.0294-24-6045
 つくば営業所 TEL.029-863-3006 FAX.029-859-8925
 古河営業所 TEL.0280-92-6978 FAX.0280-92-6998
 つくばメンテサービスセンター TEL.029-863-3012 FAX.029-859-8925
 取手営業所 TEL.0297-73-3011 FAX.0297-73-3055

セメント生コン販売代理店、パイル販売代理店

常陸大理石株式会社

代表取締役 梶山 治夫

本社 〒313-0042 茨城県常陸太田市磯部町132 ☎0294-72-1234 (代)
 東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-2-1 東邦深澤ビル/6C ☎03-3813-3951 (代)
<http://www.stone.co.jp/>

HITACHI

ビルのミライに日立ビルシステム



株式会社 日立ビルシステム 関東支社北支店 〒310-0011 水戸市三の丸1丁目4番73号

今日も一日安全作業
土木建築鉄筋工事業一式

株式会社 大平組

代表取締役 大平 智彦

〒311-4144 茨城県水戸市開江町1590-4 電話: 029-252-1772 FAX: 029-254-2888
 URL: <https://www.oohiragumi.jp> E-mail: info@oohiragumi.jp
 2025年度 経営スローガン

全力闘魂

一人一人が目標を高く設定し、実現に向けて本気のチャレンジをする
 一般社団法人茨城県建築士事務所協会認定 茨城県優良鉄筋施工業者



申請・検査予約は

NICE
WEB申請 システム

スマホやタブレットでも
利用可能!

詳しくはこちら



「適正、迅速で丁寧な審査」をモットーに、
常にお客様から選ばれるセンターを目指します。

建築確認・検査をはじめ、住宅性能評価、省エネ適判、
BELS評価等省エネに係る様々な業務などを行っております。

事前の相談にも対応しております。是非お声がけください。



一般財団法人

さいたま住宅検査センター

お問合せは 048-621-5119 (営業部) まで



WAKAYANAGI ARCHITECTS

株式会社 若柳建築事務所

〒305-0868 茨城県つくば市台町1丁目8-1
 Tel: 029(886)8034 Fax: 029(886)8035
 URL: <http://wakayanagi.co.jp>

常磐地下工業株式会社

代表取締役 伊藤 康博

本社 〒317-0056 茨城県日立市白銀町2丁目24番11号
 TEL 0294-22-8196 FAX 0294-22-9852
 営業所 水戸・ひたちなか

委員会 だより

【総務委員会】 委員長 飯島 洋省

茨城建築文化賞は、県内において、地域の周辺環境に調和し、かつ、景観上及び機能的に優れている建築物等を表彰し、文化の香り高い魅力あるまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として実施しています。第38回茨城県建築文化賞の応募総数は、前回の第37回に比べ、8作品多い36作品の応募をいただきました。2段階申し込みの事前登録制を採用してから、2回目の実施となります。参加いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。

作品の内訳は、大規模作品が12作品、小規模作品が6作品、住宅作品が14作品、リフォーム作品が4作品となり、大規模と住宅作品の増加が見られました。3月26日に6名の審査委員により書類と写真による一次審査を行い、上位5作品が選ばれ、4月19日に各作品の現地を視察したのち、二次審査を行いました。結果は新聞紙上に引き上げられ、受賞者の表彰式を5月16日の通常総会にて執り行いました。

通常総会の内容は、別ページの報告詳細をご参照ください。なお受賞作品の詳細は今号に掲載されていますので、ご覧ください。良作がひしめく中、受賞されました会員の皆様、おめでとうございます。

来年は昨年度まで以上の、より多くの力作の応募をいただきますよう、皆様のご協力をお願い致します。

【企画委員会】 委員長 塙 万治

会員の皆様には、日頃より企画委員会の活動に対して、ご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。早速ですが企画委員会の今年度の活動をご紹介します。

1.住宅相談事業

相談を希望するユーザーに対して月に一度、茨城県の各地域を代表する主な自治体へ出向して、相談者に対面で行う住宅相談会と、昨年から始めた一年に各一回、水戸と土浦において、希望者に参加頂く講習会方式のリフォーム相談会と2通りの方法で行っています。どちらも一般のユーザーが県のホームページなどから予約をして、事前に決められた役所や集会所などで行う住宅建築の悩み事相談会です。

前段の対面による住宅相談は施工業者の選定方法や施工時期、見積に関する事などが多く、私達建築に携わる者にとっては当たり前の事でも相談者は真剣に悩んでおり、それらの解決に向けて私たちの前向きな言葉、明快な答弁が彼らに、信頼と安心を与えられるように心がけて相談にのっています。

又後段の相談会については、最近の相談はリフォームに関するものが多く、それであれば御希望の方にご参集頂き、講演方式の相談会をやってみようとなしに提案して、茨城県土木部住宅課様との協議の上、委託を受けて実施しました。初めての講演で色々不安はあったのですが講師(企画委員)のわかりやすいお話と飾らない人柄で参加者の満足度も高く、好評を得た事をご報告いたします。

住宅相談会是一般ユーザーに貢献が出来て、さらに建築士としての誇りと満足感の得られる貴重な事業です。今後も引き続きご協力をお願い致します。

2.若手建築家育成事業

茨城県の建築発注担当課や県内の各市町村、各団体に設計の課題を提供して頂き、優秀な作品を決定する『いばらきの若手建築家育成の為のプロポーザル』を行っています。昨今の実績をまとめたパンフレットを作成し、各市町村の長を訪問してプロポーザルの趣旨を御説明、御理解を頂いているところですが、なかなか実施に結び付いていない状況です。今年度も引続き、開催に向けて取り組む所存ですので、その際はどうぞ皆様の御参加、御協力をお願い致します。

3.長期的計画の立案

会員の皆様には建築士事務所協会として提供できる業務を計画、立案します。適正な経営や、安心して仕事ができる環境の整備など、皆様を手助けができる業務を企画します。

4.賛助会との意見交換会

賛助会員の皆様の当協会に対する要望などを伺いながら互いを利する為の意見交換会などを、定期的に設けていきます。

その他リフォームアドバイザー養成事業及び顧客への派遣事業も担当しております。

【会員委員会】 委員長 宇留鷺 博一

1.会員増強

会員の皆様には、平素より当会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。近年は高齢化の進行などにより退会者が増加し、全体として会員数が減少傾向にあります。こうした状況を踏まえ、当委員会では、会員相互の交流を深める機会を創出するとともに、当会の魅力をより広く発信し、会員増強に一層取り組んでいいる所存です。つきましては、会員の皆様におかれましても、引き続き新規会員のご紹介や勧誘など、増強活動へのご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2.賛助会総会及び建築士会との合同大納涼会

本年度は、7月11日(金)にホテルテラスザ・ガーデン水戸にて賛助会総会が開催されました。総会終了後には、「正賛交流会」と題し、正会員と賛助会員の皆様との交流の機会を設けるとともに、賛助会員の皆様におかれましては、分科会の枠を超えた少人数での密接な意見交換の場としてご活用いただき、皆様からの活発なご意見をお伺いできました。また、交流会終了後には、建築士会との共催による「合同大納涼会」として懇親会が開催されました。

3.会員親睦ゴルフ大会

本年度は、9月25日(木)に富士カントリー笠間クラブにて開催を予定しております。正会員および賛助会員の皆様に広くご参加を募り、盛大かつ有意義な催しとなるよう準備を進めております。何卒、格別のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

4.年末懇親会

本年度は、12月5日(金)に水戸プラザホテルにて開催を予定しております。当日は、多くの来賓の方々をはじめ、正会員ならびに賛助会員の皆様にご参加いただき、盛会となることを目指しております。皆様が一堂に会するまたとない貴重な機会でございますので、ぜひ交流を深める場、親睦を深める場としてご活用いただければ幸いです。多くの皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

【広報委員会】 委員長 山田 一博

会員の皆様には、日頃より広報委員会の活動等にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

1.会報「茨城」の発行

●会報「茨城」82号

今号の主な内容は、通常総会、茨城建築文化賞、賛助会総会、合同納涼会、そして学生建築展報告記事を掲載しています。また、今回から2回に渡って令和6年度スキルアップセミナー講師の建築家畝森泰行(うねもりひろゆき)氏に自身の建築観について連載をお願いしています。

●会報「茨城」83号

内容は、年末懇親会の報告、首長インタビュー等を掲載予定。令和8年1月の発刊を目指しています。(首長訪問先は検討中です)

各委員会が主催する事業は、主催する委員会側からみた視線の

報告記事としたいため、今後もご協力のほど宜しくお願いいたします。

2.建築士事務所キャンペーン

例年通り、10月初旬開催予定の「建設フェスタ」に参加予定。建築士会との連携も検討中です。

3.協会ホームページ、他

協会のホームページは、会報「茨城」とともに協会の情報を発信しているコンテンツです。新鮮な情報はなるべく早くホームページに掲載し、記録としては会報「茨城」という役割で考えています。

そして、今後、広告を含めた会報誌の在り方などを委員会では議論していく予定です。ご意見もお待ちしておりますので、今後もご指導、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

【業務委員会】 委員長 稲沼 修二

業務委員会は、建築士事務所の経営調査、経営指針の作成、近代化及び業務報酬基準の作成と普及啓蒙運動並びに特定建築物定期報告事業等の推進、設計・工法開発等技術に関する調査、情報の収集等に関する活動を行っています。

1.適正な報酬額による設計業務契約

令和6年1月9日に「国土交通省告示8号」が交付・施工され、業務報酬基準が改定されました。本年も、発注機関に要望書を提出し、価格競争による入札方式で設計者の選定をする場合は、「国土交通省告示8号」に基づいた入札価格の設定の上、「適正な最低制限価格」の設定及び「適正な最低制限価格の引き上げ」、もしくは「適正な低入札価格調査基準」の設定をしていただけるよう要望します。今年度も要望書配布等において、会員の皆様のご協力をお願い致します。建築物設計・工事監理業務の設計者選定に際して、価格の評価のみによる入札が行われている現状においては、過度な価格競争となり、建築設計業務及び工事監理業務の質を保つことが困難となっています。建築士事務所協会は、適正な競争となるよう、発注機関への要望活動を引き続き行っています、会員の皆様にもご協力よろしく願います。

2.各種業務報酬算定基準

建築物の設計・工事監理業務が、適正かつ円滑に実施されるよう、業務報酬が合理的かつ適正に算定されることが必要です。業務報酬算定の際に参考にしていただけるよう各種業務報酬算定基準を作成し、協会ホームページに掲載していますご活用ください。

建築設計業務関連で調査業務及び申請業務等が増えています、新規に業務報酬算定基準を作成する際には、会員の皆様にアンケート調査等のご協力を、よろしくお願いします。また業務報酬算定基準について、ご意見ご要望がございましたらご連絡ください。

3.講習会等

4月1日より「2025年度改正建築物省エネ法・建築基準法」が施行されました。小規模の住宅・建築物の建築確認手続きにおいて、申請図書及び手続が変更されています。各講習会等にご参加いただき、混乱が生じないようご協力をお願いします。

4.建築物の耐震診断・改修の促進について

茨城県において、「茨城県耐震改修促進計画」を改正し、重要な避難路の指定を行い、当該避難路沿道の対象建築物の耐震化を促進することにより、広域的な防災力の強化を図ることになっています。今後避難路沿道建築物の耐震診断及び補強工事等の業務が増えると思います。業務報酬の見積り依頼等がありましたら、事務所協会事務局にお問い合わせください。本年4月1日より、「2025年度改正建築物省エネ法・建築基準法」が施行され、申請図書及び手続が変更されています、建築確認申請においては充分ご検討ください。茨城県建築士事務所協会では、「建築基準法等の改正に伴う建築士個別サポートセンター」を設置しています、本年9月まで受け付けを行いますのでご利用下さい。

【研修委員会】 委員長 石黒 幸喜

研修委員会は会員及び会員事務所スタッフの資質向上に寄与するための研修事業や建築関連法令に基づく講習会提供を中心に事業を行っております。主な事業は下記の通りです。

1.建築士定期講習

建築士法に定められた3年に一度の定期講習です。本年度は小規模講習会として、つくば市で1回。水戸市で2回の開催を予定しております。

2.管理建築士講習

建築士法に定められた建築士事務所の管理建築士登録のための講習会です。毎年1回の実施です。

3.茨城県知事指定講習

建築士事務所登録時に必要な茨城県知事指定講習です。水戸市で2回実施予定です。

4.明日を創る建築講座

毎年、「茨城建築文化賞」の受賞作品を設計者に解説頂く講座です。本年度の受賞作品が先日の総会で表彰されましたので例年通り8月末開催予定です。

5.建築視察研修

国内外複数の建築作品を見学する視察研修事業です。本年度は10月に山梨方面に視察予定で、計画を進めております。近々に参加者募集いたしますのでぜひ、ご参加ください。

6.スキルアップセミナー

今、注目を集めている若手建築家を招いて自身の作品や建築についての講演を頂く事業です。毎年、募集定員を超える参加を頂いている事業です。2月に水戸市民会館で実施を予定しておりますのでご参加ください。

【景観まちづくり委員会】 委員長 吉田 良一

建築士事務所の業務は、耐震化、長寿命化、省エネルギー化、空き家問題など、多様な社会的ニーズへどう取り組んでいくが問われてきています。なかでも景観まちづくり委員会では、本年度の活動として、県内各地で年々増え続ける空き家問題に対し、地域の景観形成及び地域コミュニティの活性化へ向けて、地域で活動する建築士としての専門性およびネットワークを活かした、「いばらき空き家対策シンポジウム2025」の開催を計画しています。シンポジウムでは、幅広い意見を求め検証し、建築士としての視点から具体的な提案へと繋げて行きたいと思い、委員会にて準備を進めている所です。開催にあたりましては、会員皆様のご協力を頂き、シンポジウムの企画、運営、広報と拡充を図って行く予定です。またシンポジウムへの準備・参加も併せてご協力をお願いしたいと存じます。次回で12回目を迎える茨城学生建築展は、昨年度に続き「笠間の家」での展示を予定しています。学生にとって自分の作品が、建築に係る各専門家の方々から、評価やアドバイスを受けられる貴重な経験の場となります。一方でこの建築展は私たち建築士事務所の業界にとりまして、次世代の担い手となる貴重な若手建築士育成の一環に繋がるものと位置付けています。会員の皆様には展示会場(笠間の家)へ足を運んでいただき、是非ご高覧賜をお願いしたいと思います。また大学生にとりましては(一社)日本建築家協会主催の全国学生卒業設計コンクールへの本県代表としての出展に繋がる大会でもありますので、今年の実省点を踏まえ更にレベルアップした学生建築展にして参りたいと存じます。



人とふれあう豊かな街づくり

DS DAIICHI SEKKEI 株式会社 第一設計

代表取締役 山田 博則

写真：国営ひたち海浜公園

【本 社】〒312-0023 ひたちなか市大平3-5-3
 TEL：029-274-3056 FAX：029-274-4604 E-MAIL：daiichi@intio.or.jp
 URL：http://www.daiichi-design.jp



有限会社宮本建築アトリエ

代表取締役 宮本 久
 茨城県水戸市千波町 2274-18
 029-244-7711

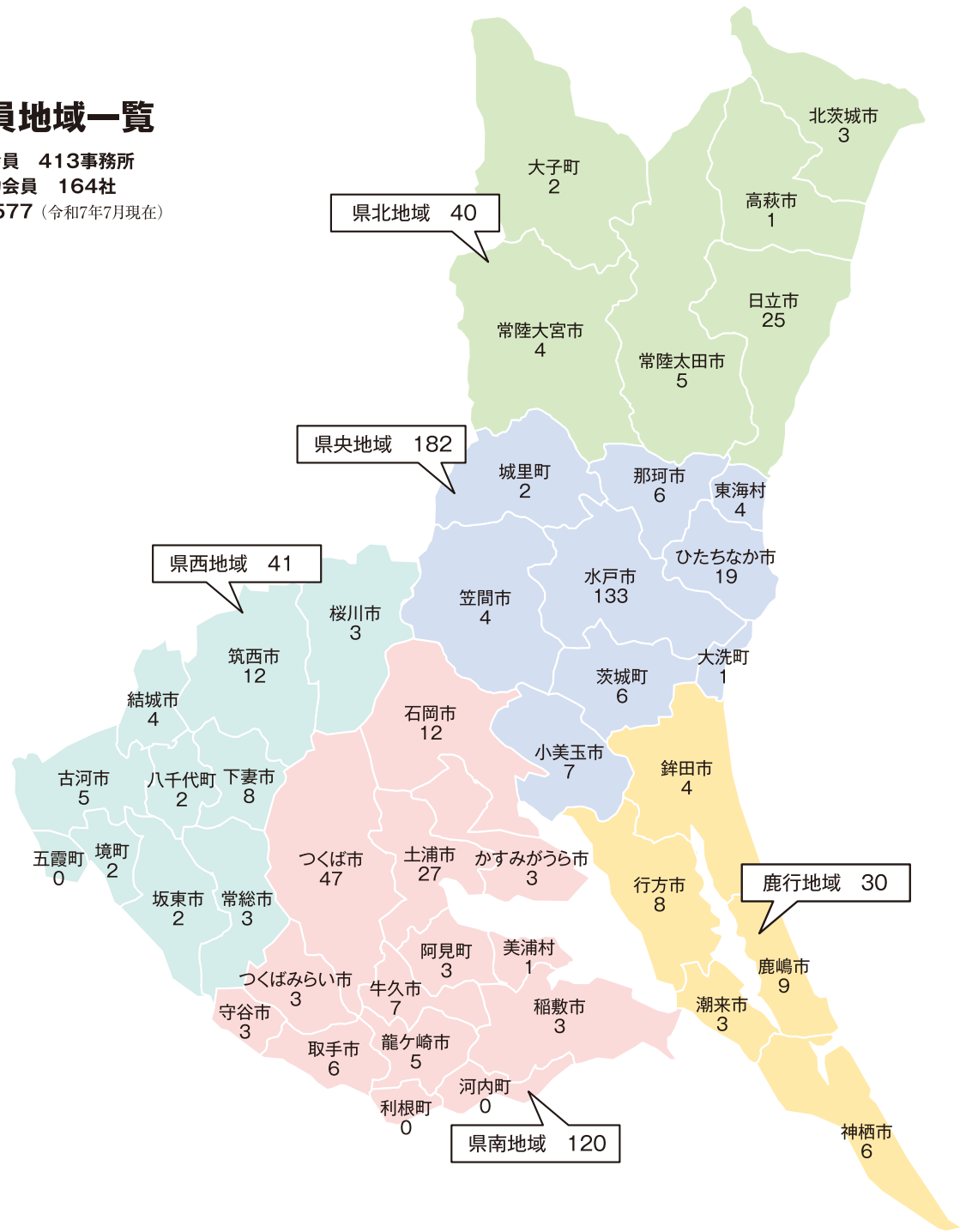
EOS建築事務所
 EOS architects & Associates

〒310-0024 茨城県水戸市備前町6-73 NKビル
 TEL：029(231)5755 FAX：029(300)7567
 E-mail：info@eos-archi.co.jp



会員地域一覧

●正会員 413事務所
 ●賛助会員 164社
 計 577 (令和7年7月現在)



建築のプロフェッショナルとして、可能性を拡げるために——。

私たちと一緒に活動しませんか？

現在、入会金無料
 ご紹介者には特典が
 ございます！

1 地域に貢献する

2 最高の仲間をつくる

3 建築士に必要な最新の知を取得する

そして挑戦する

入会のお誘い

一般社団法人茨城県建築士事務所協会は、建築士事務所の業務の適性な運営を確保するとともに、建築設計・工事監理業務の進歩改善と品位の保持向上、及び設計等を委託する建築主の利益の保護を図り、建築文化の向上と発展に努め、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とした一般社団法人です。

New member introduction

新会員紹介 2025.August



正会員

株式会社 水戸建親センター 水戸支店
鈴木 崇朗
〒310-0844
水戸市住吉町168
tel.029-247-1141



賛助会員

株式会社 染めQテクノロジー
青沼 裕
〒306-0313
猿島郡五霞町元栗橋5971番地31
tel.0280-80-0010



正会員

設計コア 山形一級建築士事務所
山形 幸三
〒310-0817
水戸市柳町1-8-17
tel.090-1602-7341



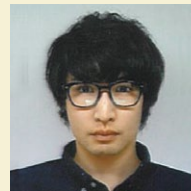
賛助会員

関彰エンジニアリング株式会社
石野 純哉
〒305-8515
つくば市東新井12-2
tel.029-858-7311



正会員

dradra一級建築士事務所
樫村 忠
〒310-0036
水戸市新荘2丁目4-24 1F-C
tel.029-291-8720



賛助会員

株式会社 ケンソウ
貝賀 雄輝
〒312-0032
ひたちなか市津田2942
tel.029-274-4321

随時、新会員を募集しております。皆さまよろしくお願ひいたします。

Editors Voice

編集後記 2025.August

今号より広報委員として関わらせていただくことになりました。委員になったきっかけは、山田委員からの誘いです。こうして誌面づくりに携わる中で、「この会報誌は広報委員会の皆さんによって、こんなにも丁寧に編集されているのか」と、恥ずかしながら初めて知りました。

会議では校正作業に参加し、ひとつの誌面が仕上がるまでの裏側を少しでも垣間見ることができました。これからは委員の一員として、「わかりやすく・ためになる」会報誌づくりに、少しずつでも力を添えていきたいと思っています。私は建築士ではありますが、インテリアデ

ザインをメインに仕事をしています。住宅から商業施設、オフィス、宿泊施設まで、内装を中心に空間を構成することが主な業務です。広報委員として、インテリアデザイナーだからこそ持てる視点を活かしていけたらと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。(石井)

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設



株式会社 河野正博建築設計事務所
〒305-0817 つくば市研究学園 5 丁目 6-6 D12-510
TEL.029-861-8847 FAX.029-861-8848
E-mail info@kono-arc.com Web http://www.kono-arc.com



2025年竣工 保育園



株式会社 青山建築設計事務所
AoyamaArchitect

〒305-0033
茨城県つくば市東新井14-3 シバハシビル4階
TEL 029-851-7430 URL www.aoyama-arc.jp
FAX 029-851-7600 Email info@aoyama-arc.jp





会報 茨城 IBARAKI

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

会報[茨城] 2025年8月 第82号

発行 ● 令和7年8月1日(年2回発行)

発行部数 ● 700部

発行者 ● 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 会長 河野 正博

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階

TEL.029-305-7771 FAX.029-305-7791

ホームページ <https://www.i-jk.org> Eメール ikyokai@i-jk.org

制作 ● (株)メディアクロス水戸

編集メンバー

根本 洋一朗	和田 淳一	富田 清一	渡辺 昌弘
山田 一博	茂垣 直樹	石井 邦明	石坂 健一
大部 淳一	菊池 洋次	鈴木 啓之	



一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
<https://www.i-jk.org>